

確かな技術の蓄積で 大型案件を相次いで受注

アントレンド

http://www.entrend.net

木村隆行社長のプロフィール

生年月日／1963年4月16日
出身地／神奈川県川崎市
最終学歴／東京CPA会計学院
趣味／ゴルフ、アウトドア
座右の銘／思い立ったが吉日



多くのソフトハウスが客先常駐型のエンジニア派遣によって事業展開する中、派遣事業を手掛けながらもあくまでフルスクラッチ開発にこだわるアントレンド。ウェブ・クラウド系アプリをワンストップで開発する同社の戦略とは。

—— 大手企業も認める御社の強みとは。

木村 中小ソフトハウスのほとんどが、その実態はエンジニアの派遣会社であり、しっかりとソフトウェアを作る技術のある会社は少ないのが現状です。そうした中で、当社では経営安定化と人的、顧客的に相乗効果を図るため派遣事業を手掛けていますが、創業以来エンドユーザーから直接受注し自社内で開発するスタイルにこだわってきました。設立当初は苦労しましたが、試行錯誤を繰り返しながら着実に小さな開発実績を重ねることで、徐々に規模の大きいフルスクラッチ案件の受注も増えてきました。

—— 大きな飛躍のきっかけとなったのは。

—— 大きな飛躍のきっかけ

木村 当社のホームページを見た日産自動車の担当者から、ソフトウェア開発について問い合わせがありました。ちょうどわれわれは他の開発案件のトラブルが収束した頃で仕事がなく、社内エンジニアの手が空いていたこともあり、まさに渡りに船の話でした。そうして日産と共同開発したのが、原材料管理システム「M-Quick(エムクイック)」です。

—— 具体的には。

木村 大手製造業では、取り扱う原材料が多岐にわたることから管理が非常に複雑です。このシステムでは、ISO監査から法律、各種条例までしっかりと対応しながら、製造化学物質をデータベースで一括管理することができます。また、管理者の承認が必要な場合でもメールを活用することで決裁までの時間を短縮するなど、大幅な業務の効率化とコスト削減を実現しました。その効果が評価され、既にあるシステムは日産の国内全事業

所に導入されています。さらに、この日産案件の開発を成功させたことを契機に、以降は大手中堅メーカーを中心にさまざまな案件について問い合わせをいただくようになりました。

—— 今後の事業展開は。

木村 今年1月に、ICTエンジニアの天職探しを支援する自社サイト「[Osyoiku.com]」をリニューアルしました。現在、スマホ端末やタブレットPC向けの開発者は引く手あまたなので、より多くの優秀なエンジニアを募って正社員登用にもつなげていきたいと考えています。とはいえ、無闇に事業を拡大するのではなく、少数精鋭で当社ならではのニッチなサービスを模索しながら「ウェブ・クラウド系アプリの開発ならナンバーワン」といわれるような会社を目指したいですね。

【会社データ】

設立／2002年10月
資本金／2500万円
従業員／40人
所在地／東京都港区